

# 第21回「議員と語りかい」報告書

1班姫城 (No. 1)

開催日	平成28年11月11日(金) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	姫城地区公民館		
団体名	姫城地区	参加人員	15人 (男14人:女1人)
出席議員	常盤 信一、下深迫 孝二、徳田 修和、池田 綱雄、木野田 誠		
役割分担	班 長 ( 徳田 修和 ) 副班長 ( 下深迫 孝二 ) 記録係 ( 木野田 誠 )		

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

## ☆副公民館長あいさつ (万膳さん)

- 当地区での語りかいは、初めてではないかと思う。
- 開かれた議会、市民参加の議会として理解したい。
- 交通、環境、防災問題等が存在している中で、地域づくり、まちづくりに対し、何が障害になっているか、考えないといけない解決の糸口としたい。

## ○事前要望事項について

- しゅじゅどん公園付近の天降川の寄洲除去をしてほしい。  
⇒天降川は県の管理であり、治水上緊急性の高い箇所から計画的に実施してもらっている。  
今回、要望の箇所も対応してもらおうように、県に要望する。
- 日当山橋から泉帯橋の河川敷、堤防の雑草や樹木の撤去をしてほしい。  
⇒管理者である県に報告し、現地確認と対応を要望する。
- 商店街に設置されている街灯が腐食等で危ない。早急な市の対応をお願いしたい。  
⇒指摘の街灯が街路灯であれば、設置管理者は姫城温泉通り会である。行政としては、霧島市商店街活性化事業補助金として、通り会等が行うイベントや施設整備において、対象経費の2分の1の補助を行っているので、利用が可能であると思う。
- 泉帯橋の交通渋滞の緩和に対して、早急な解決策を講じてほしい。  
⇒当該地区の渋滞状況は市も認識している。渋滞緩和策の取組みとして姫城中央線の南側への延長の計画はあり、予備設計はされているが、しらすぎ橋の道路計画が進行中であり、計画実施の時期までは示されていない現状である。
- 天降川の鮎の激減が心配である。今後の対策として、行政側は天降川漁協と協議しているのか。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

⇒内水面漁協振興事業として、稚鮎の放流事業の補助をはじめ、対策会議等で情報を共有している。今回、天降川漁協へ問い合わせたところ、近年、天降川の環境は改善してきており、稚魚の量も多くなってきている。対策として、卵を持った親鮎の放流150kg、投網禁止区域の拡大など行っている。

◆議会だよりの説明はあったが、ポイントは何か。

◇それぞれのページにわたりポイントを説明する。

◆増水時には、避難場所である公民館に行くこともできない。ポンプが故障したということだが、どうにかならないか。

◇ポンプの故障は、ゴミを吸い込んでの故障だった。ゴミが入らない対策が必要である。

◆ポンプの排水口を川の水圧が掛からないように、もう少し上部に取り付けたらどうか。

◇執行部に話をする。

◆松永用水路の側面に大木が自生し、倒木したら用水路をふさぎ、甚大な被害を呼ぶ危険が考えられる。伐採して欲しい。

◇まちづくり計画書にも載っており、行政は民地に生えている木で土地改良区の管理なので対応をお願いしたと回答した。

◆木は私有地に立っており、所有者は所有を否定しているようだが、市で対応できないか。

◇伐採の承諾書をもらうなどして、対応できないか行政と相談する。

◆地方創生で、この姫城地区の50年後を考えたら、どうしたら良いと思うか。議員それぞれの考えを聞きたい。

◇ひとりひとり回答したが、総じて常に地域の活性化を計る努力が必要との意見

◆国分の市民プール駐車場を広げてほしい。20年言い続けている。

◇先般の一般質問等でも質問したが、今後も提言していく。

◆高台にあるパチンコ屋を水害時の避難場所にできないか。大雨の時に用水路に水を流さないようにしてほしい。大きな用水路を作ってほしい。公民館の駐車場が狭い。隣に民有地等があるので、買収して広げてほしい。

◇行政に報告する。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆市は、「経済的理由で食べられない子ども」は何人ぐらいいるか把握していないか。

◇市としても把握はしていないと思う（個人情報等もあり）。

◆学校給食費の未納者は、どれくらいいるのか。

◇約1%である。未納者であっても差別はしていない。

◆防災無線の声が全く届かない。新設して欲しい。

◇行政に報告する。

◆政務活動費について、どう思うか、議員それぞれの考えを示せ。

◇必要だと思う。本市議会は、しっかり報告している。開示しているので必要に応じ閲覧してほしい。